

令和3年度 事務事業評価シート（1）

〔令和2年度事務事業〕

一般会計					事務事業分類	E 指定管理者事業	
事務事業名	老人福祉センター管理運営				事業番号	011-078	
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
			有	取組の方向性	⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援					
		寄与する KPI	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率					
			有	現状値	2.83%(2019年度)			目標値	2.30%(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
2	関連計画			堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30（2018）～令和2（2020）年度）						
3	事業開始年度			昭和 47 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）			老人福祉法第20条の7 堺市立老人福祉センター条例、堺市立老人福祉センター条例施行規則、堺市立美原総合福祉会館条例						

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）		本庁						
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）		市内在住の60歳以上の堺市民（約275,000人）						
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）		当事業は、老人福祉法第20条の7に基づき、無料で高齢者に関する相談に応ずるとともに、高齢者に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーション活動の場を提供し、高齢者が仲間同士の交流などを通じて、文化的かつ健康的に生きがいのある老後を過ごすことを支援するために、老人福祉センターの運営を行っている。						
8	事業内容（目的を達成するための手段）		○各区に1施設ずつ設置（平成18年度以降、順次指定管理者制度を導入） ○開館日 月曜日から土曜日 午前9時～午後5時15分。ただし、祝日（敬老の日は除く）及び年末年始は休館 ○主なサービス内容 ・趣味、レクリエーション活動の場の提供（囲碁・将棋、バンパー、カラオケ、華道、茶道など） ・入浴サービス（午前10時～午後3時） ・健康相談 ・健康教室及び教育講座等、介護予防教室（げんきあつが教室） ○中老人福祉センターについては、令和4年4月から八田荘老人ホームと一体的に民営化を予定						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		指定管理者（社会福祉法人堺中央共生会、社会福祉法人南の風、社会福祉法人大阪府社会福祉事業団）						
10	公民連携・協働事業								

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
実利用者数	人	目標値	－	－	5,623	11,139	
		実績値	8,058	4,244			
		達成率	－	－			
当該指標を選定した理由	施設を利用する高齢者の福祉向上を目的として、指定管理協定書・仕様書において目標を設定している。						
目標値の設定根拠・算出方法	令和6年度末までに60歳以上人口に占める実利用者数の割合を令和元年度比2%増となることを目標とする。令和元年度実績に基づき計算し、年間1,379人ずつ増加すると見込む。						

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事故発生件数	件	目標値	0	0	0	
		実績値	3	0		
		達成率	－	－		
当該指標を選定した理由	適正な施設管理を行い、利用者の安全を確保するため、指定管理協定書・仕様書において目標を設定している。					
目標値の設定根拠・算出方法	事故発生件数（利用者の体調変化以外）が0件であることを目標とする。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	老人福祉センター管理運営	事業番号	011-078
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	423,865	417,290	333,255	323,170	333,218
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債	67,800	75,200			
	その他（光熱水費徴収金）	771	708	1,100	600	678
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	355,294	341,382	332,155	322,570	332,540
14	人件費 (b)	9,840	9,720	9,840	9,840	9,840
15	年間経費(c)=(a)+(b)	433,705	427,010	343,095	333,010	343,058

事業費の内訳

(単位：千円)

	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算	316,257	315,657		R2	決算	485	485
16 事業費内訳	老人福祉センター指定管理料	R3	予算	329,832	329,154	施設等修繕料	R3	予算	0	0
		R2	決算	2,637	2,637		R2	決算	825	825
	施設等整備工事	R3	予算	2,500	2,500	樹木伐採・除草等業務	R3	予算	0	0
		R2	決算	449	449		R2	決算	921	921
	その他使用料及び賃借料（IT経費）	R3	予算	581	581	廃棄物処理・運搬等委託料	R3	予算	0	0
		R2	決算	390	390		R2	決算	440	440
	建築設備法定点検委託料	R3	予算	225	225	データベース改修等委託料	R3	予算	0	0
		R2	決算	62	62		R2	決算	704	704
	電気使用料	R3	予算	80	80	その他（備品購入費・消耗品費等）	R3	予算	0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和元年度	令和2年度
17	① 実利用者数	人	8,058	4,244
	② 上記①にかかる年間経費	千円	427,010	333,010
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	52,992	78,466
	備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年2月～5月の間閉館し、開館後も、クラブ活動や入浴方法の制限を行ったことが影響し、利用者数が大きく減少した。
	令和元年度と比較した場合、経費は約2割減少し、利用者数は約5割減少している。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点に伴う休館や利用制限など、例年とは異なる事業運営となったことから、前年度との比較や、費用対効果についての検証は困難であるとする。
	なお、令和元年度に策定した「堺市立の高齢者福祉施設のあり方に関する基本指針」において、令和6年度末で入浴事業を廃止することを予定しており、入浴施設の大規模な改修は今後行わないが、各施設老朽化していることから、維持管理経費は増加する可能性がある。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	
	老人福祉センターで行われている各種活動（囲碁・将棋、体操・ダンス、書道、手芸などのクラブ活動）は、高齢者の社会参加と生きがい創出につながっている。結果として、フレイル予防になり、要支援認定率の減少に寄与すると考えられる。